

【大学シーズ情報】 ※印の項目は必須項目ですので、ご記載ください。

◇本事業では、大学の「知財」「技術シーズ」全般を取り扱います。

特許の有無は問いません。

大 学 名 東京都立産業技術研究センター

※研究タイトル	インタラクティブ性をもつバイオフィードバック・ロボットシステムの開発
※研究者の所属学部学科、役職、氏名	生活開発セクター、副主任研究員、後濱龍太
技術のポイント	
現在の研究開発段階	A 基礎研究段階 ・ B 試作段階 ・ C 実用化段階
※技術の紹介	<p>本成果は、内発的動機付け（＝自分が運動したいから運動する）を促進すると共に、運動強度及び運動部位が適切な範囲にある運動を行うことができるよう、ユーザを支援することができる運動支援システム及び運動支援プログラムである。</p> <p>【図】</p> <p>① 中央計算部 （運動に影響のない 離れた場所に設置。 いずれかの台車に搭載 しても可）</p> <p>② 屋内測位基地部 （運動に影響のない 離れた天井や床などに設置）</p> <p>③ ディスプレイ+ 物理的入力部</p> <p>④ ディスプレイ支持部</p> <p>⑤ 屋内測位端末部分</p> <p>⑥ 移動台車 （全方向移動）</p> <p>⑦ 個別計算部</p> <p>⑧ 全周測距センサ</p> <p>⑨ モーションキャプチャ・カメラ （運動に影響のない 離れた床や天井に設置）</p> <p>⑩ 心拍センサ （装着式、無線）</p> <p>③～⑧：ロボティック装置部</p> <p>炎の大きさ： めやす量Q</p> <p>参加者</p>

大 学 名

<p>研究の背景</p>	
<p>従来技術より優れている点</p>	
<p>※技術の 用途イメージ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつでも好きなときにスポーツジムへ行ってエアロビが出来る「パーソナルエアロビシステム」 2. スポーツジムインストラクターが、参加者の運動の適切さを定量的に評価するための支援システム 3. 家庭にいながらにして、いつでも体操ができ、結果を定量的にフィードバック可能な「いつでも体操システム」 4. 中学校体育で必修化されたダンス授業における「動き作りの補助教材」
<p>中小企業への期待</p>	
<p>知財情報 (注) 特許番号がありましたら記載ください</p>	<p>運動支援システム及び運動支援プログラム：特願 2013-241895（早稲田との共願）</p>

